



絵本キャラバン

ってなあに？

Picture Book Caravan

『絵本キャラバン』って？

発展途上国の孤児院や障害施設の子どもたちに、独自に作成した絵本をプレゼントするプロジェクトです。希望者は実際に現地と一緒にプレゼントもできる「参加型」プロジェクトとなっています。たくさんの希望者のみなさんと一緒に、砂漠を進む「キャラバン隊」のように絵本をプレゼントしてまわりたいという想いが込められています。



なんで絵本をプレゼントするの？

「ウソつきにはバチが」「働き者は得をする」などの私たちがもつ価値観のうち、絵本から得たものを意外にも多くあります。「金の斧」「うさぎとかめ」「舌切り雀」などなど。そんな絵本を読めない子どもたちが海外にはたくさんいます。私たちは教育の機会を満足に得られないそんな子どもたちの助けになりたいとこの活動を続けています。



どんな絵本をプレゼントするの？

「多様性」「ダイバーシティ」をテーマにした独自の絵本を作成しています。勉強では落ちこぼれだった主人公であるイヌが、自分のやりたいこと、できること(デザイン)に気が付き、成長していく様を描いています。絵本は吹き出しだけで文字がありません。絵本は子どもたちが文字を書いたり消したりしても劣化しにくい素材を使用しています。



なんで絵本に文字がないの？

絵本には以下の想いであえて文字が書いてありません。

- ・内容を考えることで想像力や探求心を養ってほしい
- ・文字を書き込んで自分だけの絵本にしてほしい
- ・文字の読めない子どもたちにも読んでほしい
- ・言葉の違う世界中の子どもたちに読んでほしい



どうやってプレゼントするの？

自由に考えられるダイバーシティワールドの絵本には、子どもたちの数だけストーリーがあります。それが私たちが伝えたい「多様性」でもあります。ただ、小さい子どもたちにいきなり絵本だけを渡しても、自分たちだけで理解するのはやっぱり難しいです。そこで私たちはプレゼントする前に、かならず紙芝居で絵本の内容を伝えるようにしています。



絵本はどうやって作っているの？

日本国内では同じ絵本を購入することができます。1冊買うと5人の子どもたちに絵本を渡せます。また、キャラバン参加費の一部も絵本製作の費用として使用しています。それ以外にも日本IBM株式会社をはじめとした賛同者・賛同企業様の寄付金も使用して、本プロジェクトの運営と絵本の製作は行われています。



Diversity World